

堺消防セ第 547 号
令和 7 年 7 月 4 日

堺市美原区自治連合協議会
校 区 代 表 者 様

消防局予防部総合防災センター
所 長 山 本 浩 司

堺市総合防災センターのご活用について（お願い）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当センターの運営に格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当センターはオープンから丸3年が経過し年々たくさんの皆様にご来館いただいている状況ですが、来館者の内訳を見てみると、堺市外からのご利用が増えていく傾向にあります。

まずは地元美原区の皆様に当センターをもっと知っていただき、幅広い世代の皆様が気軽に訪れていただける施設をめざし、各種体験コースや施設の特性についてご紹介させていただきます。

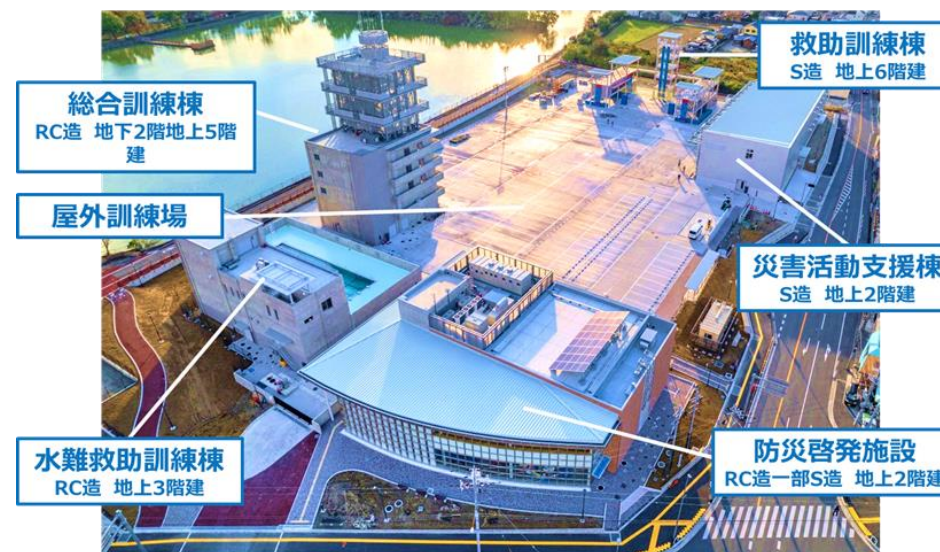
土日祝日も開館（毎週月曜日及び第3火曜日、年末年始は休館日）していますので、夏場は地元のクールスポットとしてもご活用いただくなど、さまざまな機会に広くご案内いただきますようお願い申し上げます。

堺市消防局予防部総合防災センター 担 当：岡本・山本広 連絡先：072-363-2270（直通）
--

施設利用状況

◆ 堺市総合防災センター来館者数

地域防災力を高める拠点 令和4年4月1日開設



	合 計	体験コースあり	体験コースなし	イベント等
R4	49,176 人	28,652	8,456	12,068
R5	57,868 人	35,259	10,473	12,136
R6	66,023 人	38,065	13,647	14,311

体験コース利用状況

全体 団体別利用者数（体験コース利用あり）

	合 計	自主防災組織	自治会	小学校	中学校	高校 専門 大学	幼・保 こども園 など	福祉 施設	企業 事業所	行政 機関	消防関連 団体	その他	個人
R5	35,259	1,812	1,902	8,692	1,114	1,136	1,458	3,591	1,354	1,435	2,006	1,256	9,503
R6	38,065	1,061	1,801	11,203	868	1,111	2,128	4,073	5,244	1,377	1,492	82	7,625

消防局管内 団体別利用者数（体験コース利用あり）

	合 計	自主防災組織	自治会	小学校	中学校	高校 専門 大学	幼・保 こども園 など	福祉 施設	企業 事業所	行政 機関	消防関連 団体	その他	個人
R5	17,801	812 (5%)	662 (4%)	5,801 (32%)	710 (4%)	502 (3%)	1,141 (6%)	1,107 (6%)	718 (4%)	580 (3%)	133 (1%)	561 (3%)	5,074 (27%)
R6	18,083	279 (1%)	842 (5%)	6,318 (35%)	449 (2%)	440 (2%)	1,481 (8%)	1,447 (8%)	2,196 (12%)	564 (3%)	120 (1%)	4 (1%)	3,943 (22%)

年間イベント実績

	日時	イベント	内容	R6実績
	5月	GW（子供の日）イベント	防災グッズが当たるガラガラ抽選会	2,681人
	8月	夏休みイベント	夏休みの自由研究ができるイベント	984人
	10月	ハロウィンイベント	親子を対象とした体験イベント	1,176人
	11月	みはら区民まつり	20周年を記念し、防災センターで開催	12,893人
	12月	クリスマスイベント	館内装飾と簡単なワークシート作成	473人
	1月	ファイヤーフェスティバル	出初式後にセンターで開催予定	2,300人
	3月	こども防災春まつり2025	敷地全体を使った大規模イベント	6,697人

住所別コース利用状況

住所別 団体別利用者数（体験コース利用あり）

	合 計	自主防災 組織	自治会	小学校	中学校	高校 専門 大学	幼・保 こども園 など	福祉 施設	企業 事業所	行政 機関	消防関連 団体	その他	個人
全体	38,065	1,061	1,801	11,203	868	1,111	2,128	4,073	5,244	1,377	1,492	82	7,596
堺区	3,331	16	60	870	28	132	176	203	1,009	311	0	3	523
中区	2,631	45	39	1,318	15	0	172	329	184	29	0	0	500
東区	2,011	29	119	723	0	5	138	113	270	0	0	0	614
西区	2,188	72	137	769	0	0	336	185	186	0	19	0	484
南区	2,186	70	166	667	242	126	295	177	73	26	0	0	344
北区	2,728	36	33	1,221	0	146	231	176	178	24	51	0	632
美原区	1,515	0	127	312	151	31	34	83	238	164	0	0	375
大阪狭山市	956	11	161	190	0	0	44	122	29	10	0	1	388
高石市	537	0	0	248	13	0	55	59	29	0	50	0	83
大阪府内	15,839	558	650	3,952	335	454	647	2,414	2,149	644	906	43	3,087
他府県	3,825	224	309	839	84	41	0	212	863	169	466	35	583
国外	318	0	0	94	0	176	0	0	36	0	0	0	12

コース別利用状況

38,065中		月	火	水	木	金	土	日
合計		1,544	5,041	6,300	6,914	7,528	4,899	5,839
真・体験	22,205	903	2,953	3,680	3,326	4,362	3,237	3,744
キッズ	4,731	577	284	322	315	275	1,339	1,619
水害	262	8	15	42	36	44	36	81
救出救助	285	1	11	69	54	9	14	127
火災	178	0	32	41	34	48	8	15
避難所生活	440	4	45	76	49	103	80	83
要支援者避難	815	51	106	187	79	230	85	77
学校団体	7,938	0	1,516	1,395	2,762	2,237	0	28
一般団体	1,211	0	79	488	259	220	100	65

来館回数

- 初めて 85%**
- 2回目 11%
- 3回目 2%
- 4回目 1%
- 5回目以上 1%

～来館者アンケートより～

各種体験コースのご案内

1 映像による災害学習



阪神・淡路大震災では、死者数の8割以上が倒壊した建物や家具による圧死でした。また、倒壊家屋から救助された方のほとんどは、家族や近隣住民によるものでした。映像を通じて、災害の怖さや、自助・共助の重要性に気づき、対策方法を学びます。

5 応急救護体験

一刻を争う救命には協力が大切！意識が無ければ「119番通報」「AEDの準備」「心肺蘇生」の役割分担を人形を使って体験します。



気づき

2 地震体験



地震に遭遇する映像を見ながら、震度7の地震の揺れを体験。地震対策をした場合と、していない場合の被害の差や、とっさの避難判断で変わる運命など、普段からの意識と備えの大切さを実感できます。



実践

ここで得た
気づき、学びを
できるところから
お家でも実践
してみよう！



総合訓練棟 3 4

防災啓発施設 1 2 5 6

3 煙・暗闇避難体験

火災で発生した黒く濃い煙は一息吸っただけで意識を失うこともあります。避難では煙を吸わないようタオルやハンカチなどで口と鼻をふさぎます。暗闇では壁を伝いながら誘導灯をめざして進みます。



実践

学び



実践

4 消火体験

消火器での消火活動を実際の炎で行います。使い方は、①黄色のピンを抜く②ホースの先端を持って構える③レバーを握って放射の3ステップ。熱くない場所から炎ではなく、燃えているものを狙い、ほうきで掃くように消火するのがコツです。

4

6 防災情報コーナー

災害と対策方法を本型の展示パネルで紹介。「ナゾキシート」を解きながら、防災力を身につけます。津波の恐れのある区域は阪和線より東へ逃げれば安心など、堺ならではの防災対策が詰まっています。119番通報の体験もできます。

学び



堺市総合防災センターでは、ツアー形式の「真・体験」により

気づき

学び

実践

を通して災害時本当に必要とされる知識と技術が学べます

!

その他体験プログラムも多数あります！

75分
**～災害体験施設～
火災コース**
対象：中学生以上
1
映像による災害学習

国内で発生している災害を振り返り、堺市の地理的特徴や災害の歴史を紹介しします。
地震の特徴や、堺市での地震による津波や風水害発生時の危険性を認識するとともに、東日本大震災等の教訓から自らを考え行動することの重要性を学びます。


2
消防用設備体験

実物の消防用設備の操作方法や設備の知識を学びます。
警報設備体験、避難器具体験、屋内消火栓の実放水体験を行います。


3
消火体験

多様な消火機材の使用方法を習得し、それらを使って火災時に慌てず的確に消火する力を身につけます。
実火を使用して臨場感を持って体験することで、真の防災力が身に付きます。


4
**訓練ガイダンス
煙・暗闇避難体験**

煙中・暗闇の中での避難姿勢を学び、実際に体験してもらうとともに展示用の誘導灯の有無で避難のしやすさを学びます。


75分
**～災害体験施設～
水害コース**
対象：中学生以上
ヘルメット・軍手着用
予約可能人数：5名以上（最大20名まで）
1
映像による災害学習

国内で発生している災害を振り返り、堺市の地理的特徴や災害の歴史を紹介しします。
地震の特徴や、堺市での地震による津波や風水害発生時の危険性を認識するとともに、東日本大震災等の教訓から自らを考え行動することの重要性を学びます。
続けて、水害コースのガイダンス映像をご覧ください、屋外の体験へ移ります。


2
水圧ドア体験

浸水時のドアの開放体験を行います。
開放の難しさや足元に流れる水圧を体験することができます。


3
冠水路歩行体験

実際の水を使用して冠水路の歩行の難しさを体験できます。
水圧を上げながら激しい流水を作り、流水中の歩行の難しさを体験することで、集中豪雨や台風時などの道路冠水に備える知識を習得します。



※屋外で行う体験コースは、雨天時中止となります。

75分

**災害体験施設
救出救助コース**

対象：中学生以上

ヘルメット・車手着用

予約可能人数：5名以上（最大20名まで）

1 映像による災害学習


国内で発生している災害を振り返り、堺市の地理的特徴や災害の歴史を学びます。

地震の特徴や、堺市における地震による津波や風水害発生時の危険性を認識するとともに、東日本大震災等の教訓から自らを考え行動することの重要性を学びます。

2 応急担架


大規模災害時や急病人発生時等、資機材が無くても身近なもので作成が可能な応急担架の作成方法及び搬送方法について体験し、知識を習得します。

3 圧迫止血

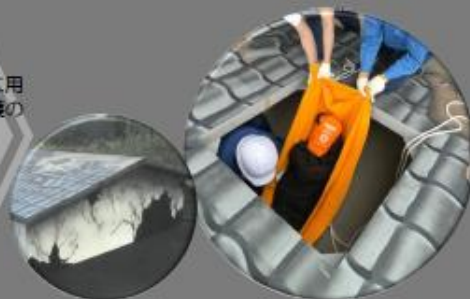

身近なもので処置が可能な圧迫止血（応急処置）の方法について体験し、知識を習得します。

4 重量物除去体験


コンクリートなどの重量物を動かす際の方法について知識を習得し、実践的な訓練を行います。

5 救出救助体験

倒壊模擬家屋を使用し、地震災害時に用意できる物を使った実践的な救出救助の訓練を行います。



※屋外で行う体験コースは、雨天時中止となります。

75分

**災害体験施設
避難所生活コース**
1 映像による災害学習

国内で発生している災害を振り返り、堺市の地理的特徴や災害の歴史を紹介します。

地震の特徴や、堺市での地震による津波や風水害発生時の危険性を認識するとともに、東日本大震災等の教訓から自らを考え行動することの重要性を学びます。


2 マンホールトイレ

堺市の備蓄倉庫に収納されている備蓄資機材のうち、主にマンホールトイレの組み立て及び使用方法を体験します。


3 防災倉庫・備蓄倉庫見学

備蓄倉庫を見学することで、堺市の災害への備え（公助）を確認します。


4 要支援者体験

避難所でのポイントや注意点、工夫、備えなどを実体験を通して学びます。避難行動要支援者の避難支援時における注意点を学びます。

訓練用的人形を車椅子を使用しての搬送体験、ゴーグルや重りを使用した避難行動要支援者の疑似体験を行います。



※屋外で行う体験コースは、雨天時中止となります。

55分 キッズコース

未就学児向け

1 地震体験

地震発生時の揺れを震度別に体験します。
 (震度1～4程度)
 こどもが怖くない震度で揺れを体験し、被災時に取るべき行動を学びます。



2 訓練ガイダンス 煙避難体験

訓練ガイダンスで避難方法の学んだあと、実際に煙の中を通過して避難体験をします。また、展示用の誘導灯の有無で避難のしやすさを学びます。



3 防災アニメによる災害学習

桃太郎の防災アニメで、さまざまな災害について学びます。こどもたちにもわかりやすい内容で、災害時に取るべき行動について考えます。



4 防災工作

「紙食器」や「ゴミ袋ボンチョ」づくりなど、防災工作を通じて、水・電気・ガスが使えない暮らしを考えます。



未就学児向けに怖くない体験を集めたコースです。大人の方も一緒に学んでいただけます。

55分 要支援者避難コース

1 地震体験

周囲の壁や床に投影された映像と起震装置の揺れが連動し、リアルな地震体験ができます。映像・振動によって今後起こりうる大地震を体験し、震災の恐ろしさと被災時に取るべき行動を学びます。



2 訓練ガイダンス

火災時に煙の中を避難するときの方法について学びます。映像などを用いてわかりやすく説明します。



3 煙・暗闇避難体験

煙中・暗闇の中での避難姿勢を学び、実際に体験してもらうとともに展示用の誘導灯の有無で避難のしやすさを学びます。



4 悪路避難体験

道路の損壊等による悪路での避難を体験します。車いすや高齢者疑似体験キットを用いて体験してもらうことで、支援が必要な方の目線に立ち、補助の方法や共助の大切さを学びます。



ご予約が可能な期間

堺市・高石市・大阪狭山市の自主防災組織・学校園*（事前視察含む）

ご来館予定日の**12カ月前**の月始め日

■ 月始め日が休館日の場合はその翌日となります

例）2023年4月23日（日曜）にご来館予定⇒2022年4月1日（金曜）～ご予約可能

■ *学校園とは、学校教育法に基づく学校、児童福祉法に基づく保育園、認定こども園とします。

堺市・高石市・大阪狭山市に在住在勤在学の方

ご来館予定日の**6カ月前**の月始め日

■ 月始め日が休館日の場合はその翌日となります

例）2023年4月23日（日曜）にご来館予定⇒2022年10月1日（土曜）～ご予約可能

大規模災害時における防災センターの役割について



NO ENTRY

一般の方は
入ることができません。

ここは、消防機関をはじめとする災害対応専用施設となります。
近隣の避難所などをご利用ください。

※ここから近い避難所は、堺市立黒山小学校と堺市立美原中学校です。



人力で搬入する様子
(志賀町豊来小学校)



ハンドフォークを用いた物資の移動状況
(石川県産業展示館)



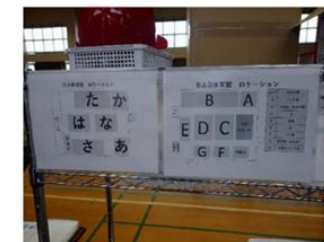
物資拠点の状況 (穴水町B&G海洋センター)



物資拠点の状況 (堺市健康民体育館前)



民間物流企業による物資拠点における支援状況



民間物流企業による物資拠点における支援状況

カフェだけのご利用もぜひ！

